

第17回スポーツ審議会（令和元年8月6日）での主な指摘事項

【「第2期スポーツ基本計画の実施状況の検証・評価」について】

＜総論＞

○いくつかの点検項目で数値が微減している（例えば障害者スポーツなど）が、その分析がなされていない。その中で、今掲げている行動目標や活動、事業等の継続で本当に解決できるのか疑問である。

＜学校体育・運動部活動について＞

○体育が上手なくとも楽しいと思わせるモデルケースを作成して、全国の先生に発信してほしい。

○運動部活動改革について、生徒の多様なニーズを考えた場合、自治体の競技団体と連携するなど、もっと多くの種目を提供できる環境が必要ではないか。

＜総合型地域スポーツクラブについて＞

○総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の推進について、スポーツ庁からも、具体的な支援、各都道府県体育・スポーツ協会への指導をお願いしたい。

＜障害者スポーツについて＞

○障害者スポーツについてスポーツ実施率を高めるためにも、スポーツの場やそこまでの交通経路などを発信するのも大切なのではないか。

○障害者スポーツの指導者数は伸びているが、実施者数が伸びていないこと、また、二極化が進んでいることについて、どうアプローチをするのか議論が必要ではないか。

○2020年東京大会が終わる前から、障害者が誰でもできるようなスポーツの仕組みやスポーツの在り方などについて研究をしたほうがいいのではないか。

○障害者スポーツを実施している人の話だけでなく、実施していない人たちにその理由を聞いた上で、スポーツ関係者がそこに対して何ができるのかを、予算要求等で御検討いただきたい。

○障害者と健常者が一緒に交じってスポーツに参加できるような配慮を継続してほしい。

＜スポーツに関わる人材の育成について＞

○人材育成について、経営に関わる人材や大学のスポーツアドミニストレーター、国際機関におけるIF役員のポスト獲得など、方向性や何をもってその人材にふさわしいと考えるかのマスタープランが描けていないのではないか。

＜スポーツを通じた地域活性化について＞

○地域のスポーツ施設の充実を促し、スポーツを行う環境を整備することや、企業や自治体、地域住民と大学が連携し、多くの人々がスポーツに関わることができる取組を推進してほしい。